

神戸大学ヨット部 News Letter



目次

- ・はじめに
- ・全日本学生ヨット個人選手権大会の結果報告
- ・全日本個人戦の所感
- ・1年生紹介
- ・おわりに

はじめに

お世話になっております。2回生・広報補佐の大石です。

爽秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今号は全日本学生ヨット個人選手権大会の成績をご報告申し上げます。蒲郡遠征に際しまして、OB・OGの皆様より温かいご声援と多大なるご支援を賜りましたこと、部員一同、心より厚く御礼申し上げます。皆様のお力添えがあったからこそ、無事に大会を終えることができました。

また、まもなく関西インカレが開催されます。本大会にも多くのOB・OGの皆様が応援に駆けつけてくださると伺っており、部員一同、心強く感じております。これまで培ってきた経験と練習の成果を発揮し、必ず良いご報告ができるよう、チーム一丸となって挑む所存です。

今後も皆様のご期待に応えられるよう、より一層精進してまいりますので、引き続き変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

全日本学生ヨット個人選手権大会

470級(全55艇)8R実施

34位市川④・太田③(210点)

40位 続③・下山③(257点)

スナイプ級(全55艇)8R実施

33位寺岡④・岩田③(209点)

詳しい成績は、こちらのサイトからご確認ください。→ [全日本個人戦最終成績](#)

全個の所感

4回生/470スキッパー市川太陽



お世話になっております。

4回生470スキッパーの市川太陽と申します。

全日本個人戦では、関西では経験できない55艇のビックフリートで貴重な経験を積むことができました。一度は前を走る場面もありましたが、思うような実力を発揮できず後ろを走るレースも多く、全国の舞台で求められる精度の高さを痛感しました。スタートでのフレッシュ確保やタックポイントなど、西宮では学べないことを多く学び、自分の甘さが成績に表れていることも実感しました。また今まで知らなかった強豪の他大学が求める全日本の舞台での優勝の厳しさや、立派な閉会式、とても大きい名前が入ったトロフィー、何枚ももらっている賞状を見て、今まで自分の中に実態のなかった全国の舞台というものがどういうものなのか、海でもみくちゃんにされ、陸でも感じたことない衝撃を受け、本当にいい刺激を受けることができた全日本個人戦の遠征となりました。残り1か月、この遠征で得た危機感と刺激を糧に、関西インカレ突破に向けて練習に励んでまいります。

全個の所感

3回生/470クルー太田希海



お世話になっております。3回生470クルーの太田希海と申します。

今回の全日本個人戦は、私にとって初めての遠征であり、初の全国レースでした。技術面では、艇数が多いため、いつも以上に精度の高い動作やスタートが求められることを実感しました。また、艇団の中で自分の位置をどう取るか、そのためにどこでタックを返すのかといった先を読むコース取りや対艇への考えが非常に重要であることを学びました。

チーム全体としては、出場していた他大学と比べて動きに課題が多く、全国レベルにはまだ遠いと感じました。今後の活動では、この点を改善していく必要があります。

遠征の機会は限られていますが、今回得た経験やノウハウを下の代にしっかりと伝えていく責任があると感じています。全国レベルのレースを経験したことで、自分自身の課題も明確になり、これから西宮でどのような練習に取り組むべきかを具体的に考えるきっかけになりました。今回得た貴重な経験を、今後の活動に確実に繋げていきたいと思っています。

全個の所感

3回生/470スキッパー続将



お世話になっております。3回生470リーダーの続将と申します。

初めての全日本という舞台で、目標は半分以上の順位を取ることでしたが、結果は40位/55位と目標には届きませんでした。しかし、良いスタートを決められた場面もあり、スピードでも大きく劣っていないと感じました。また、風の強弱に合わせたピンダウンやアップ、クルーとの頻繁なコミュニケーションもできました。

一方で、ビッグフリートでフレッシュを掴む意識や、周りを見ながら走る力が不足していました。そのため艇団に対するタクティクスが弱く、埋もれて大きく順位を落とすレースが多くありました。順位を守るタクティクスや、自分のポジション把握も課題として残りました。

初めて全国でトップクラスの選手とレースができ、とても刺激になりました。帆走だけなら通用していると感じましたが、タクティクス不足で順位を守れない現状を痛感しました。西宮にいただけでは気づくことができなかった課題が全国で浮き彫りになったことは、大きな収穫です。

今後はこの学びをチームに共有し、関西インカレに向けてさらにレベルアップして臨みたいと思います。

引き続きご指導・ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

全個の所感

3回生/470クルー下山克貴



お世話になっております。3回生470クルーの下山克貴です。

今回の全日本個人戦は初めての遠征ということもあり、積み込みや梱包、予備品の準備など手探りの部分が多く、時間の使い方や段取りに課題が残りました。また、陸での動きも普段よりルーズになり、ミーティングやチームでの行動が不十分だった点は改善が必要だと感じました。

一方で、レースにおいては帆走スピードが特にクローズで良く、強豪校とも十分に戦える感触を得られました。スタートでも積極的に前に出る姿勢を持てたことは良かったですが、BFDやポジションの取り方の甘さが響き、またタックポイントの判断や軽風ランのスピードといった弱点も明確になりました。結果自体は満足のいくものではありませんでしたが、内容面では多くの学びを得られ、来年以降にしっかりつなげられる遠征になったと感じています。

全個の所感

4回生/スナipsスキッパー寺岡滉一郎



お世話になっております。4回生スナipsスキッパーの寺岡です。
今回の全日本個人戦は、自分にとって初の全日本のレースで、ビッグフリートに参加するのも初めてでした。西宮では体験することの出来ない規模のスターボの壁やブランケットの広さに翻弄されてしまったものの、全国における自分の位置を明確にすることができ、速い大学のシェイプや走らせ方を学ぶことも出来ました。目標の25位には遠く及びませんでしたが、初の全日本でのハイレベルなレースはとても楽しかったし、多くの学びを得ることができました。
残り短い期間ではありますが、今回の経験を糧に、関西インカレ突破に向けて頑張りたいと思います。

全個の所感

3回生/スナipsクルー岩田優人



お世話になっております。
3回生スナipsクルーの岩田優人です。
全日本個人戦を通して、全国のレベルと自分達の現在地を比べ、戦えた部分と戦えなかった部分がはっきりとしました。得意な微風、軽風域では艇速も、スタートも関東の強豪大学とも戦えることが分かった一方で、強風域では大きな差を痛感致しました。特に、蒲郡は海面が広いこともあって西宮よりも波が発達しやすく、その対処にアジャストしていくことができませんでした。スタートも、ライン感覚には上位勢とかなり差があるように感じました。ジャストスタートとフルスピードの精度が段違いに高いことに加えて、スタート直後に落ちていかない帆走力というスタートの先の課題も感じました。
関西インカレに向けて、自艇の課題や強みを確認することができたので、残りの期間で少しでも精進して参ります。



全個の所感



4回生/スナイプクルー 川瀬翔大

お世話になっております。

4回生スナイプクルーの川瀬翔大と申します。

私は予備クルーとして全日本個戦に参加し、支援艇から他大学のセーリングを広く観察することができました。その中で最も強く感じたのは、強豪校との差は圧倒的な能力差ではなく、「精度」と「再現性」にあるということです。

レース中のひとつひとつの要素におけるわずかな精度の違いが積み重なり、大きな差として結果に表れていました。たとえば、マーク回航を正確に決めることや、常にセイルシェイプを最適に保つことなど、西宮でのレースでは多少妥協しても耐えられていた部分が、全国の舞台では通用しないものとなり、課題として突きつけられました。艇速が良いときは強豪校の艇にもついていけていましたが、少し崩れると順位を大きく落としてしまう不安定さも露呈しました。今後は「できている」と思っている部分も含めて見直し、より高い精度を安定して再現できる力の必要性を感じました。

例外的に、強豪校と圧倒的な差を見せつけられたのがスタートです。

成功しなければ上位を目指すことはほぼ不可能なビッグフリートで、毎回ほぼ確実にスタートを決め、安定して上位に食い込む大学の技術に比べると、私たちにはまだまだ練習が足りないと感じました。

今回の経験を糧に、関西インカレ突破に向けて頑張りたいと思います。

全個の所感



4回生/マネージャー 山路比奈子

お世話になっております。

4回生マネージャーリーダーの山路比奈子と申します。

全日本個人選手権大会は、大きなトラブルなく進められ、レスキュー準備やSNS発信などを滞りなく行うことができました。一方で、集合や声かけ、役割分担、準備・撤収の効率化などに課題を感じ、他大学の組織力や情報共有の速さから学ぶべき点も多い遠征となりました。

関西インカレに向けては陸上サポートの効率化・海上での練習の質の向上によって、チーム全体の意識を高めたいと思いました。

また、強豪校の「サポートも強い」姿に刺激を受け、自分も先を考えた行動を意識し、後輩育成と勝利に向けた練習運営の両立を目指したいと思います。改めて、蒲郡に連れてきてくれたプレーヤーたち、安全に練習してくれた西宮のメンバー、そして最後になりましたが、遠征や活動を支えてくださった池崎監督、OBOGの皆様、有岡コーチ伊東コーチありがとうございました。

1年生紹介

この春、15名の1回生を新たに迎え、部はますます活気にあふれております。
OBOGの皆様の温かいご支援のもと、日々練習に励む彼らをご紹介します。



大地遥斗
(おおちはると)
470級
元気とやる気いっぱい
で全力疾走します！



岡本彩也華
(おかもとあやか)
470級
1回1回の練習を自分の
成長に繋げられるよう
頑張ります！



小野颯斗
(おのはやと)
スナイプ級
熱量もって部活に取り
組みます！



茶本晋之介
(ちゃもとしんのすけ)
470級
早く上手くなれるように
一生懸命頑張ります！



豊岡倅弥
(とよおかこうや)
470級
1つでも多く成長でき
るよう頑張ります！



中井結子
(なかいゆうこ)
スナイプ級
少しでも早く1人前の
プレイヤーになれるよ
うに頑張ります！



中野翔太
(なかのしょうた)
スナイプ級
一生懸命頑張ります！



藤墳暁生
(ふじつかこうせい)
470級
1日1日を大切に頑張
ります！



藤井孝志郎
(ふじいこうしろう)
スナイプ級
一生懸命なんでも頑張ります！



松井将隼
(まついまさと)
470級
毎回の練習で必ず収穫を得て、早く先輩たちに追いつけるように頑張ります！



村山昂輝
(むらやまこうき)
470級
1歩ずつ成長していきます！



山城正汰郎
(やましろうしょうたろう)
スナイプ級
一生懸命頑張ります！



吉沢暁太郎
(よしざわきょうたろう)
スナイプ級
憧れの先輩たちに追いつけるように頑張ります！



石坂瑚菜
(いしざかこな)
マネージャー
主体的に学んで吸収したいと思います！



長尾姫華
(ながおひめか)
マネージャー
みんなを支えられるマネージャーに早くなれるように一生懸命頑張ります！

琵琶湖での練習では、深谷様をはじめ、多くのOBの皆様にご指導やサポートをいただき、1回生にとって大変貴重な経験となっております。ヨットの技術だけでなく、代々受け継がれる部の雰囲気や姿勢を肌で感じながら成長しており、部全体としても大きな力となっております。日々の練習では、積極的に声を出して先輩を支えたり、互いに切磋琢磨し合ったりする姿が見られ、部の雰囲気をさらに明るく盛り上げてくれています。琵琶湖での恵まれた練習環境と、OBの皆様の温かいご支援に改めて感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



終わりに

お世話になっております。広報の西山です。

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。

全日本学生ヨット個人選手権大会を終え、次なる関西インカレに向けて準備を進めております。関西インカレまで残り4日となり、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮できるよう、最後の調整に励んでおります。皆様に良いご報告をお届けできるよう、全力で挑む所存です。

次号では夏季インカレおよび全日本女子インカレの結果をご報告いたします。

引き続き、温かいご支援とご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。